

分身、見たら死ぬ。

a Kiyoshi Kurosawa film

# Doppelgänger

# ドッペルゲンガー

# Doppelgänger

恐怖で発狂できたら、  
その方が  
幸せだった・・・。

ドッペルゲンガー  
分身に遭遇し、皮肉にも生きる希望を  
見出してしまった男は、  
死へのカウントダウンを止めることができるのか？



役所広司 永作博美 ユースケ・サンタマリア 柄本明

監督／黒沢清「CURE キュア」「回路」「アカルイマイ」 脚本／黒沢清、古澤健  
制作／株式会社トワーニ 制作協力／株式会社ツインズジャパン プロデューサー／佐藤教、下田淳行、川端基夫  
主題曲／PE'Z「アンタルシア・Andalucia」(東芝EMI/Virgin Records Co.)  
配給／アミューズピクチャーズ [www.doppel.jp](http://www.doppel.jp) ©2002「ドッペルゲンガー」製作委員会

ドッペルゲンガー  
いよいよ、今秋<分身>が現れる!!

映画「ドッペルゲンガー」前売鑑賞券¥1,500(税込)にて好評発売中!  
(当日一般¥1,800のところ)

- 劇場窓口にて前売券をお買い上げの方に、いち早く「ドッペルゲンガー」を目撃!  
PE'Z主題曲PV(映像協力:Viewsic)、役所・永作・ユースケインタビュー映像入りCD-ROMをプレゼント!  
もらった人だけがダウンロードできる特別グッズあり!!
- オリジナル・サウンドトラックCDリリース(東芝EMI/Virgin Records Co.) ●小説版「ドッペルゲンガー」発行(竹書房)
- 「ドッペルゲンガー」meets「ドッペルゲンガー」コラボレートTシャツ劇場ほかにて販売決定!

シネ・アミューズ 渋谷文化村通り 東急本店前フォンティスビル4F  
tel. 03-3496-2888 [www.cineamuse.co.jp](http://www.cineamuse.co.jp)

新宿武蔵野館 新宿駅中央東口1分 三越裏 武蔵野ビル3F  
tel. 03-3354-5670 [www.musashino-k.co.jp](http://www.musashino-k.co.jp)

全国順次上映 神奈川 ヨコハマ・シネマ・ソサエティ 045-311-0102 千葉 AMCイクスピアリ16 047-305-3855 / 大阪 シネ・リーブル梅田 06-6440-8930 大阪 心斎橋シネマ・ドウ 06-6251-3789 京都 みなみ会館 075-661-3993 兵庫 シネ・リーブル神戸 078-334-2126 雲知 ゴールド劇場 052-451-0815 愛知 AMC ホリデイ・スクエア18電機 0532-38-0088 岐阜 AMCリバーサイドモール16シンセイ 058-323-5455 福岡 シネ・リーブル博多駅1・2 092-434-3691 福岡 AMCなかま16 093-245-4600 福岡 T・ジョイ リバーウォーク北九州 093-573-1566 北海道 ハラマウントユニバーサルシネマ!! 011-207-1110 北海道 シアターキノ 011-231-9355 北海道 スカイデイズ旭川 0166-21-1233 宮城 仙台フォーラム 022-728-7866 山形 山形フォーラム 023-632-3220 新潟 T・ジョイ新潟万代 025-249-4555 長野 アイシティシネマ 0263-97-3892 石川 金沢シネモンド 076-220-5007 広島 サロン・シネマ 082-241-1781 岡山 シネマ・クレール 088-232-2281 大分 シネマ5 097-536-4512 他

# ドッベルゲンガー現象とは何?



た。しかもその何者かは、モーパッサンにそっくりだった。というより、彼自身だったのだ。

このような、自分のほかにもうひとりの自分に遭遇してしまう現象は俗に「ドッベルゲンガー」と呼ばれている。その語源は、ドイツ語の「ドッベルゲンゲル」で、ドイツの民間伝承にこの種の話がしばしば登場することからつけられた。本来の意味は「分身」とか「影法師」だが、多くは死を告げる不吉な存在として語られることが多い。

そのため、ヨーロッパ各国では、「自分の分身を見た者は、近いうちに死ぬ」といい伝えられてきた。  
◆ 事実、モーパッサンもこの体験の4年後に、37歳の若さで世を去っている。はたして、ドッベルゲンガーは本当にその人の死を予告する存在なのだろうか。

モーパッサンの例とは異なるドッベルゲンガー体験をした人物もいる。詩人であり、作家や思想家としても有名なゲーテだ。  
◆ ゲーテはシュトラスブルクの大学で法学の勉強を七していた20歳のとき、フリードリケという女性と恋に落ちた。しかし彼は、結婚によって束縛されることを嫌い、卒業を機に彼女と別

れて故郷へと帰る決心をした。  
ところが、彼女と最後の別れをして故郷への道を急いでいたゲーテは、奇妙な体験をする。前方から自分そっくりの男がこちらに向かってやってきたのだ。ただ違うのはゲーテがそれまで着たことのない青灰色の服を身につけていたことくらいであった。

その男の姿は、しばらくすると幻のように消えてしまったが、なんとその8年後、ゲーテが再びフリードリケに会いに行くために同じ道を通ったときは、はからずも幻の男が着ていたのと同じ服を自分が着ていることに気づき、愕然とした。そう、幻の男とは未来の自分だったのである。しかもゲーテは何事もなかったように、83歳の天寿を全うしたのだ。

どちらも間違いなくドッベルゲンガーである。だが、その意味するところはまったく異なる。このほかにも、自分のドッベルゲンガーに命を助けられた話やドッベルゲンガーを殺してしまった話は、はては、自分とドッベルゲンガーがある期間別々の生活をしてきた話など、一口にドッベルゲンガーといってもその現れ方はさまざまなのだ。

では、ドッベルゲンガーはなぜ現れるのか。死の直前や未来の予告として現れることか、幽体離脱や生き霊の一種とする説や、未来からの訪問者という説などがあるが、現時点では詳しいメカニズムはまったく不明である。(学研ムーン編集部 穴戸宏隆)

何者かが部屋の中に入ってきた。そしてその何者かは、なれた様子でモーパッサンの目の前に腰掛けると、いきなり彼の頭を両手ではさみ、今まさに執筆中の文章を口述しはじめ

1889年の秋のある日のこと。フランスの文豪モーパッサンは、自宅の書斎でひとりで、新作小説の執筆に没頭していた。と、そのとき、背後のドアが開き、

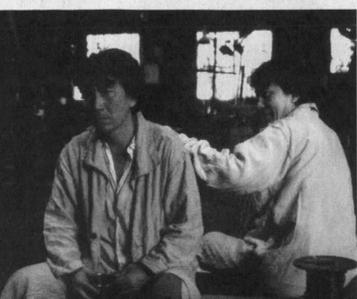
## 芥川龍之介の遺稿 『人を殺したかしら?』の不可解

芥川龍之介と心靈現象との関わりは深い。自らも超自然的恐怖をテーマに小説を創る一方で、事実としての心靈体験にも彼は並々ならぬ関心を抱いていた。それは、かつて芥川の母親が精神に錯乱を来したという事実、その遺伝を絶えず気にかけていた、という事実もさることながら、芥川は実際に「もうひとりの自分」を目撃し、どうやらその影にひどくおびえていた節があるのだ。

昭和2年7月24日午前7時過ぎ、芥川は寝床で遺体となって発見された。廊下には、ばらばらにされた原稿がおかれ、一番上の用紙には赤インキで「破棄」と書かれてあった。死の直前まで書かれていたと見られるその原稿は、なぜか何通りにも書き換えられた跡があり、題名は「人を殺したかしら?」という、ドッベルゲンガーをテーマにしたものであった。  
死の週間前、芥川の自宅をある新聞記者が訪れている。その折に

なぜか芥川は記者の目の前で「人を殺したかしら?」の原稿を破り棄てたという。そしてその後、この新聞記者の行方は分かっていない。

そしてこの原稿の末尾には作品を書き終えた日付として、「二五二六」と記されている。だが、芥川は昭和2年5月26日には東京にはいなかった。彼は東北・北海道へ講演に出かけ、その帰路に新潟で行われた座談会で、自らのドッベルゲンガー現象を赤裸々に告白していたのだ。……(小池壮彦「ムーン」95年9月号「異界に迷い込んだ作家たち」より)



## 佐伯日菜子が目撃したのは、そっくりな他人? それとも…

それは5、6年前のことでした。原宿「南国酒家」の前の歩道橋で、突然、雨が降り出してきたんです。傘を広げている人もいましたが、あまり傘が好きじゃない私はそのまま目的地に向かって歩いていました。ふと目の前に、どこのお店で買ったのか聞きたい位に、自分好みのかわいいスカートをはいた女の子が立っています。彼女が私に背を向けて傘をさしていました。デート中らしく彼女と一緒でした。

その彼女の前を通り過ぎる時、あまりにも驚いた顔をされたのですが、この頃はもう今の仕事をしているので、「あ、私のこと知っていますか」と

のかな?」と嬉しく思ったのです。でも、そのすぐ後、彼の驚きと全く同じ理由で私は凍りつきました。彼の態度の異変に気づいた彼女が、彼の視線を追うように振り向いたとき、その顔が私と全く同じだったのです。

あまりに似すぎていて、何も言えなかったし、何も考えられずに、その場を離れた。怖くもなかったし、嫌な感じもしませんでした。

彼女が私のドッベルゲンガーだったのかは分かりませんが、ただ不思議な気持ちがありました。(佐伯日菜子「女優」談)

世界の謎と不思議に挑戦する SUPER MYSTERY MAGAZINE 9/9発売号にて、ドッベルゲンガー最新事件集掲載! www.gakken.co.jp/mu/ あなたのドッベルゲンガー目撃談を大募集します!! www.doppel.jp